

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2026年4月
第245号

もくじ

巻頭言	2
第31回千葉県理学療法学会報告	3
各部局県士会活動案内・報告	5
編集後記	12



千葉県理学療法士会：以下 県士会

URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : t.kouketsu@asunarogroup.jp

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.246 6月号 (6月1日頃掲載) メ切 4月30日
No.247 8月号 (8月1日頃掲載) メ切 6月30日
No.248 10月号 (10月1日頃掲載) メ切 8月31日

No.249 12月号 (12月1日頃掲載) メ切 10月31日
No.250 2月号 (2月1日頃掲載) メ切 12月31日
No.251 4月号 (4月1日頃掲載) メ切 2月28日

❖ 巻頭言 ❖

🗨️ 動き出した千葉県理学療法士会の未来設計図

一般社団法人 千葉県理学療法士会

副会長 松田 徹

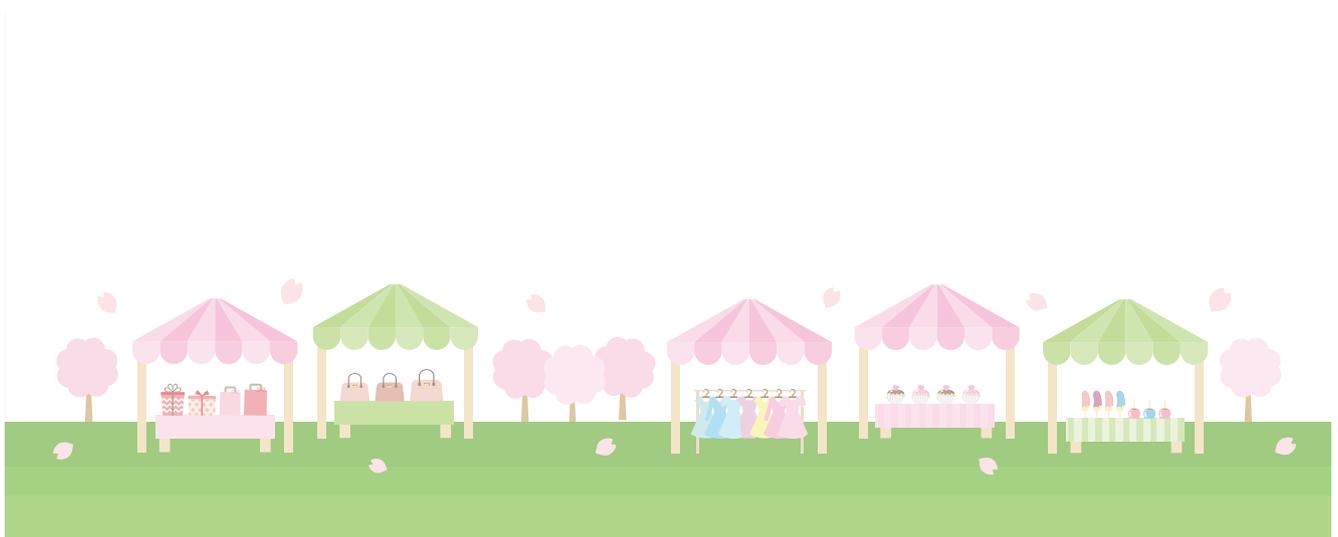
千葉県理学療法士会は、いまや5,000人規模の大きな組織となりました。50年を超える歴史の中で、先人たちの熱意と努力により事業が積み重ねられ、今日の発展があることを、私たちはあらためて誇りに思います。

一方で、社会は大きく変化しています。先の見えにくい時代、いわゆるVUCAの時代において、組織として「何のために存在するのか」「どこへ向かうのか」を明確にすることは、これまで以上に重要になっています。そこで現在、理事一同で中長期計画の策定に取り組んでいます。議論を重ねながら、パーパス・ビジョン・ミッション・バリューを軸に、県士会の未来像を丁寧に描いているところです。

私たちが目指すのは、単なる事業の集合体ではありません。会員一人ひとりのキャリアデザインや成長に寄り添い、その力が県民の健康と福祉の向上へとつながっていく。そんな循環を生み出す職能団体でありたいと考えています。県士会を「遠い存在」ではなく、「自分ごと」として感じてもらえる組織へ。そのために、わかりやすく、開かれた運営を目指していきます。

組織力をさらに高めるため、来年度は新たな挑戦も始めます。新入会員の促進、そして休会者の復会を後押しする取り組みとして、会員・非会員を問わず参加できる1日型の対面研修会を無料で開催する予定です。知識の習得だけでなく、人と人とのつながり、横のネットワークを実感できる場にしたいと考えています。そこから生まれる出会いや学びが、皆様のキャリアを後押しするきっかけになるはずです。

千葉県理学療法士会は、皆様とともに作る組織です。ぜひ研修会へのご参加、そして職場の新人や未入会の方、休会中の方へのお声かけをお願いいたします。ともに未来を描き、ともに歩んでいきましょう。



❖第31回千葉県理学療法学会報告❖

📍大会を終えて

第31回千葉県理学療法学会

大会長 高杉 潤

(千葉県理学療法士会理事/東都大学 教授)



「未来へ育む はじめの一步」この大会のテーマは千葉県理学療法士会員の、特に若手の育成、そして若手を指導する立場にある中堅、ベテラン層の学術研鑽のきっかけの場にして欲しいという願いを込めて私が捻り出したものでした。そういう意味では本学会はその一助を担えたと思います。

一般演題は116演題が採択され、質疑も活発に繰り広げられました。どれも素晴らしい研究でしたが、その中から1題の最優秀賞と4題の優秀賞（ビギナーズ演題、一般演題から各2題）が表彰されました。表彰された先生方にお

かれましては、誠にありがとうございます。やはり一般演題は学会の根幹を成すものですので、今後も、より多くの演題と良質な研究がエントリーされることを期待しております。



山本澄子先生、堀本ゆかり先生の特別講演では、貴重な研究データをご提示のもと、臨床に活用できる内容であることは勿論のこと、教育現場に勤務する者、組織をマネジメントする立場の者にとりましても示唆に富む興味深い内容でありました。杉浦史郎先生、村山尊司先生、齋藤洋先生を招いてのシンポジウムでは、臨床現場で研究活動を実践する意義や重要性、それを構築するための方法論のヒントも知ることができました。臨床現場から研究成果を世界に発信していく、という強いメッセージが3名のシンポジストに共通して見られていたのはとても興味深かったです。本学会で

は新たな企画として公募型企画を導入し、6つもの企画が採用されたことは画期的であったと思います。どの企画も好評で、今後の学会企画の中軸になる可能性が示唆されました。

概算ですが今回の学会は参加登録者数約1,300名（オンデマンド登録約600名、対面参加が学生スタッフ含め約700名）と、過去最大規模の千葉県理学療法学会となりました。昨年度の関東甲信越ブロック理学療法士学会（以下：関プロ学会）との合同大会が1,656名、今年度の関プロ学会の山梨大会は874名とのことでした。関プロ学会並みの規模にまで本会が発展したのだと、衝撃の事実を開会式前に知ることとなり私自身驚きました。来賓の日本理学療法士協会長の齊藤秀之先生から、千葉県理学療法士会の結束力の強さだと高く評価していただき、感謝の辞まで述べていただきました。

本学会での大きな収穫の一つとして、養成校ネットワーク委員会を通じて千葉県内の養成校から学生スタッフを募り、総勢79名を招き入れ、学会の運営に参画いただけたことでした。会場担当のスタッフの誰もが「どの学生さんも仕事の飲み込みが早く、機転の利いた機敏な動きをしてくれた。安心して仕事を任せられた。とても助かった。次回からはもっと学生さんに任せても良いと思う」等のお褒めの言葉を多くいただきました。また学生スタッフとは別に、学生交流会に参加した学生さん達も、堂々と発表し、丁寧に質疑応答している姿をみて、とても頼もしく思え、将来性を強く感じました。また「自分の学校の先輩が演題発表している。応援したい！格

好い。自分もここで発表したい」といった声も多々聞かれました。先輩の勇姿を目の当たりにした彼らには、衝撃的、刺激的であったと思います。まさに“未来に育むための土壌作り”を学生のうちから実践できたことは、本学会の大きな成果の一つであったと思います。学生のうちから千葉県理学療法士会の学術活動に参加し、興味をもって貰い、将来、日本理学療法士協会や千葉県理学療法士会で活躍できる人材を育てるという狙いがここにありますが、見事にフィットしたと感じた瞬間でした。

最後に、本学会を成功に導いた陰の立て役者である、平野準備委員長はじめ、江戸学術局長、遠藤運営局長、金子広報局長、小串事務局長と、その局長を支えた各局員、学会運営にあたり多大なサポートをいただいた小林学会検討委員長、Anyone else 合同会社ならびに大崎様、前日・当日の会場設営や運営に携わっていただいた千葉県理学療法士会スタッフと学生スタッフの皆様、一般演題の座長の皆様、学会を全面的にサポートいただいた千葉県理学療法士会 薄会長はじめ理事・役員の皆様、会場借用・設備に協力いただきました東都大学・幕張国際研修センターの関係者、その他、関係者に深く感謝いたします。



❖各部局県士会活動案内・報告❖

📦生涯学習局 報告

生涯学習局 局長 竹内 真太
 生涯学習局担当 理事 藤井 顕
 生涯学習局担当 理事 室井 大佑

2026年度は、生涯学習制度が刷新されてから初めての登録理学療法士の更新期限を迎えます。該当する方は更新に必要な要件の確認を行い、早めに対応をお願いいたします。

また、生涯学習制度に関するAI相談窓口を設置しました。千葉県理学療法士会>理学療法士向けサイト>生涯学習>お問い合わせ・AI相談窓口よりご利用ください。

【前期研修部より】

前期研修部 部長 高原 剛

前期研修部では、今年度も引き続き前期研修修了に向けて会員の皆様のサポート体制、広報の方法など改善策を検討し、皆様の履修促進につながるよう尽力して参ります。今年度は、5月と来年3月に生涯学習制度説明会、9月に生涯学習制度の相談窓口を実施予定です。また、前期研修部のページに前期研修の履修状況の確認方法、実地研修の受講申請、受講登録方法を掲載しております。ぜひとも、多くの方にアクセスしていただき、受講の一助となりましたら幸いです。今年度もよろしく願い申し上げます。

【後期研修部より】

後期研修部 部長 池田 一樹

2026年度は、以下の研修会の開催を予定しております。

・県士会主催症例検討会

(後期研修カリキュラムE 領域別事例)：6回開催予定 (E1 神経系、E2 運動器系、E3 内部障害系を各2回)。

・Cテーマ研修会。3回開催予定。

後期研修を履修中の方は、ぜひ積極的にご参加ください。また、この機会に症例発表についてもご検討いただけますと幸いです。年度計画および症例発表者募

集フォームは県士会ホームページに掲載しておりますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

【企画研修部より】

企画研修部 部長 廣居 康博

企画研修部では、令和8年度の士会主催更新研修会を4回実施する予定です(運動器2回：対面、脳血管、AI関連：Web)。会員の皆様が予定を立てやすいように、これまでより研修会の日程を早めに提示するようにいたします。今年度も県士会員の皆様に有益な講習会が実施できるよう尽力いたします。引き続き、千葉県理学療法士会ホームページにアクセスし、「生涯学習」→「士会主催更新研修会」の情報をチェックするようにしていただければと思います。

【理学療法士講習会推進委員会より】

委員長 藤井 顕

研修会の申込情報はマイページにてご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしています。マイページ掲載までお待ちください。

〈令和8年度理学療法士講習会予定〉

- ・臨床を豊かにする臨床推論教育の基本～学生指導から新人教育まで～
開催予定9月5日(土)

〈令和8年度理学療法士講習会推進委員会関連研修会予定〉

- ・人工呼吸器の苦手を克服する研修会
開催予定9月6日(日)
- ・臨床におけるコミュニケーション教育
開催予定12月19日(土)
- ・いまだからこそ学びたい心不全～基礎から臨床実践まで～
開催予定2月7日(日)



公益事業局 報告

●認定スクールトレーナー活動

～木更津市高柳小学校・岩根中学校～

認定スクールトレーナー
スポーツ支援部 部長 大山 隆 人

2025年12月10日に、木更津市立の高柳小学校5・6年生、岩根中学校1・2年生、保護者、教員の約250名を対象に、学校保健事業として認定スクールトレーナーの活動をしてきました。

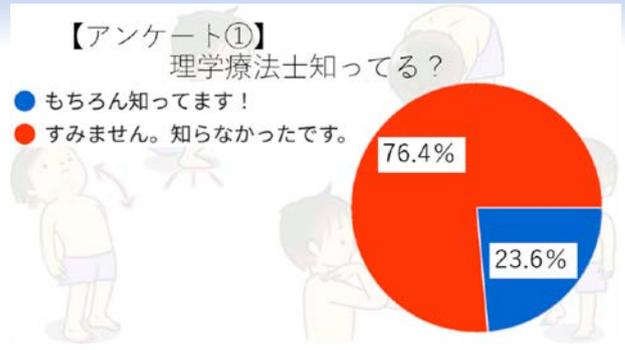


テーマとしては、【未来の自分を守るために、今できることを！】という内容で、姿勢や運動、睡眠、食事の重要性、成長期の怪我の知識、その対処方法について、講演させていただきました。

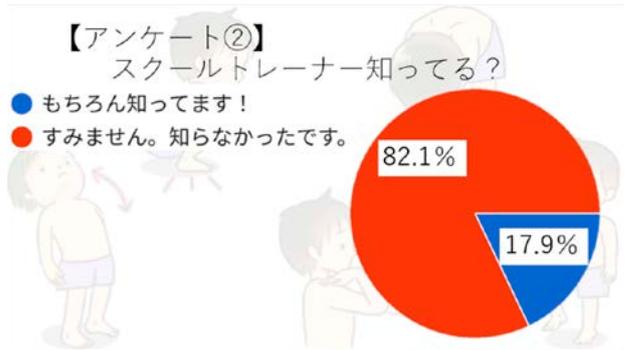


1時間という短い時間であった為、事前にアンケートとクイズをgoogle formにて行い、その体クイズに対する回答編という形をとって講演を行いました。

アンケートでは理学療法士や認定スクールトレーナーの認知度についても行いました。理学療法士に関しては『知っています』が23.6%と知っている以上に低く、驚きました。私の職場にも多くの小中学生が来院されるため、もっと認知されているものだと思っていました。ただ、大谷翔平選手のアメリカのトレーナーや、車いすバスケの漫画などで出てくる職業としての話をすると、知っている様なりアクションも見受けられました。



ちなみに、認定スクールトレーナーに関しては17.9%でした。こちらは、思ったよりも多かった印象です。



講演に際しては、1時間の間に体の変化を感じてもらう様な実技を行ったり、実際に体操を一緒に行ってもらったりして、有意義な時間を過ごせたかと思います。



今回、認定スクールトレーナーとしての活動を行うことが出来たのは、今年度に認定スクールトレーナーの推薦を千葉県理学療法士会より頂き、講習会に参加することができたからです。心より感謝申し上げます。

今まで公益事業局で活動を行ってきて、やはり市民・県民の健康に寄与することができる理学療法士としての役割は、とても社会にとって重要だと感じています。これからも引き続き認定スクールトレーナーとして、子供たちの健康や怪我の予防などに関わっていただければと思います。

☑一般社団法人千葉県理学療法士会

●令和7年度 第11回理事会 議事録

日 時：令和7年12月12日（金）19時00分～21時25分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉薄 直宏、松田 徹、小川明宏
高橋 聡、大住崇之、桑江 豊
江戸優裕、金子達哉、山中 玄
高杉 潤、森下勝行、竹内真太
室井大佑、藤井 顕、小串健志
福家晶子、仲 貴子、井上靖悟
深田 亮、川村雄輔

〈委 任 状〉小林好信、中村亮太

〈監 事〉田中康之、児玉美香、松川基宏

〈委 員 長〉なし

〈事 務 局〉奥村龍之

〈書 記〉江戸優裕

1. 協議事項

1) ブロック主催の研修会における参加者の要件について

ブロック主催の研修会や勉強会への参加要件は、現状で同一ブロック内施設の会員のみであるが、この要件を緩和する場合のメリットやデメリットについて協議された。

2) 2025年度優秀賞について

今年度末に理学療法士養成課程を卒業する学生で千葉県に就職する成績優秀者を表彰することについて協議された。表彰自体は例年実施しており、今年度も実施する方向であるが、より有益な表彰方法について今後検討することが議論された。

3) 非会員理学療法士の県士会イベントの参加条件について

非会員の県士会イベント参加を認める場合、具体的な条件をどのように設定するか協議された。参加費、回数、優先順位などの会員との差別化や主催者の意向を反映することについて議論された。

4) 千葉県理学療法士会中長期計画（案）の提示と協議

県士会の中長期計画の骨子案が提示され、協議された。12月22日のブロック長合同会議でも骨子案を説明し、意見・課題を収集する方向となった。

2. 審議事項

1) 東葛南部ブロック予算組み替えについて

事業計画に加えて新たに若手を対象とした交流会を開催するにあたり、会議費からの予算の組み替えについて審議された。賛成多数で承認された。

2) 基礎から学べるこどものリハビリセミナー開催について

障がい児者支援部にて企画中の第8回基礎から学べるこどものリハビリセミナー2025について、参加対象者に非会員を含むことの可否について審議された。数年前から同様の基準で開催されてきたことを鑑みて次年度以降は新たな規程に則り企画する方針とすることを条件に、今年度に限り許可することが賛成多数で承認された。

3) 更新研修会における講師要件の変更について

更新研修会における講師要件を整理した案が提示された。原則として講師は県士会員とし、県外から招聘を希望する場合は事業計画時点で承認を得る、あるいは理事会で承認を得ることとすることが賛成多数で承認された。

4) 県士会承認要件の変更について

県士会承認の研修会における要件を整理した案が提示された。県士会承認の対象範囲は千葉県内の施設とし、他士会施設に所属する会員へのポイントの付与は認めないこととすることが賛成多数で承認された。

5) 生涯学習システム関連マニュアルの公開方法について

生涯学習システム関連マニュアルをAI（Notebook LM）を活用して理事・監事・部長・委員長・会員へ公開することについて、賛成多数で承認された。

6) 新規入会者の承認について

2025年11月の新規入会者について、賛成多数で承認された。

3. 報告事項

1) 会長行動録、三役会報告、三役局長会議報告

11月7日～本日までの会長行動録および三役会と三役局長会議の結果が報告された。

2) 事務局報告

下記8点について報告された。

①県士会ニュースの進捗

②日本理学療法士協会広報会議への出席

③会員向け郵送物の原稿収集

- ④全国一斉 理学療法週間広報イベント
- ⑤令和8年度新入会歓迎セミナー：2026年5月17日（日）開催予定。次年度は2回の開催を検討。
- ⑥中間監査準備進捗
- ⑦厚労大臣表彰祝賀会進捗
- ⑧会員メールアドレス等の情報提供：運用規程を整理中。

3) 公益事業局報告

下記4点について報告された。

- ①2025年度 下半期 持ち上げないケア研修会：2026年1月18日（日）実施予定
- ②船橋健康祭り：11月2日（日）無事終了（参加者354名）
- ③我孫子健康フェア：11月16日（日）無事終了（参加者360名）
- ④スポーツ・障スポ合同ブラッシュアップセミナー進捗

4) 高野連海外遠征での配布資料について

海外遠征の帯同スタッフが作成したコンディショニング資料について高野連より使用の相談があり、使用上の留意点に関して三役局長会と公益事業局の見解が報告された。

5) 関ブロ協議会スポーツ関連事業運営委員会の参加報告

関東甲信越ブロック協議会スポーツ関連事業運営委員会の内容について報告された。

6) 都道府県理学療法士会生涯学習担当者意見交換会の参加報告

都道府県理学療法士会生涯学習担当者意見交換会の内容について報告された。

- ①2027年度以降の理学療法士講習会について
- ②生涯学習制度の見直しについて
- ③会員証発行運用の見直しについて

7) PT会・OT会・ST会 災害対策委員会合同研修会について

PT・OT・ST 各士会の災害対策委員会の合同研修会の企画内容について報告された。

日 時：令和8年2月15日（日）10時00分～12時00分
場 所：千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス

B111

対 象：PT、OT、ST 県士会員、養成校学生

会 費：無料

8) 令和7年度SAFE協議会（合同開催）参加報告

千葉県小売業・千葉県介護施設+SAFE協議会の内容について報告された。

- ①構成員の活動事例紹介
- ②運動習慣の定着について（千葉県理学療法士会）
- ③カスタマーハラスメント対策について

9) 第31回千葉県理学療法学会 進捗状況

演題査読、SNS、学生スタッフ募集など順調に準備中であることが報告された。

次回：令和7年度第12回 ハイブリッド開催

日時：令和8年1月9日（金）

会場：千葉県理学療法士会事務所

以上

●令和7年度 第12回理事会 議事録

日 時：令和8年1月9日（金）19時00分～21時15分

場 所：千葉県理学療法士会事務所（ハイブリッド開催）

出席者：〈理 事〉薄 直宏、松田 徹、小川明宏
高橋 聡、小林好信、大住崇之
桑江 豊、江戸優裕、金子達哉
山中 玄、高杉 潤、森下勝行
竹内真太、室井大佑、藤井 顕
小串健志、福家晶子、仲 貴子
井上靖悟、中村亮太

〈委 任 状〉深田 亮、川村雄輔

〈監 事〉児玉美香、松川基宏

〈事 務 局〉奥村龍之

〈書 記〉山中 玄

1. 協議事項

1) 中長期計画 県士会活動の4つの柱について

2026年以降を見据えた方向性（中長期計画）の4つの柱（制度整備と運営基盤強化、学術・職能・公益活動の推進支援、政策形成支援と外部連携強化、地域展開とブロック展開支援体制構築）について説明がされた。それぞれのアクションプランの方向性の妥当性やKPIの考え方について議論がされた。

特に「政策形成支援と外部連携強化」については、今夏の参議院選挙の総括を踏まえ、県士会としての政策の継続性や、職能団体として政策形成にどのように関与していくかという考え方について説明がなされた。

2) 学術大会における学生一般演題発表導入について

導入方針案、発表区分・表記、座長・指導体制、倫理指導、事前ガイダンス、トラブル対応、養成校交流企画との棲み分け等が説明され、他士会事例や需要の見込みも共有された。オープン形式であれば賛成できるとの意見がある一方、時期尚早等の意見も踏まえ、継続検討とされた。

3) 千葉市緑区ふるさと祭りについて

次年度の「千葉市緑区ふるさとまつり」参加について経緯および経過の説明がされ、次年度事業計画に盛り込む方向で進めることとなった。併せて、同様の依頼に対するイベント参加基準やブロック連携フローの検討も必要とされた。

4) 新入会戦略について

新入会促進の目的で2026年度は新人歓迎セミナーを2回開催（5月・9月）する計画がされている。学術的要素を強くした1日で多領域を学べる大規模研修会の企画での9月開催について協議がなされた。開催時期（9月想定）やターゲット設定、生涯学習制度との連携等について意見が交わされ、継続検討とされた。

2. 審議事項

1) 新規入会者の承認について

2025年12月の新規入会者6名について、賛成多数で承認された。

3. 報告事項

1) 会長行動録、三役会報告、三役局長会議報告

12月12日～本日までの会長行動録と今後の予定および三役局長会議の結果が報告された。

2) 事務局報告

下記4点について報告された。

- ① 県士会ニュースの進捗報告
- ② 会員向け郵送物の原稿収集について
- ③ 厚生労働表彰祝賀会について

1月31日（土）13時開始、会場はロイヤルパインズホテル、参加者は27名である。受賞者以外の参加費は6,000円。費用は事務局費から支出予定。

- ④ 令和8年度新入会歓迎セミナー（5月17日開催）について

今回は昨年度と概ね同様の内容としつつ、養成校教員を各校1～2名招聘し、受付・休憩・昼食時間等で卒業生との交流の機会を設ける予定。

3) 公益事業局報告

下記2点について報告された。

- ① 介護予防研修について（1月25日開催 受付期間1月16日まで）

- ② 令和7年度健康・体力づくり指導者研修会について

4) 関東甲信越ブロック協議会生涯学習担当者会議参加報告

2025年11月16日に開催された関東甲信越ブロック協議会生涯学習担当者会議における主な協議事項（各県の生涯学習に関する取り組み状況、登録理学療法士不在施設への支援、臨床実習指導者講習会の運営課題、登録理学療法士の更新年限）について報告された。

5) 管理者メーリングリスト整備に関する進捗報告

生涯学習局が初期作成を行い、運営開始後の更新作業は管理者ネットワークが担当することが報告された。また現時点での作成および運用ルールについて情報提供があった。

6) 第19回WLB部研修会について

下記研修会について報告がされた。

「先輩PTのリアルから学ぶキャリアデザイン」

開催日程：令和8年2月1日（日）10時00分～12時30分

開催場所：千葉県理学療法士会

参加対象：県士会会員、参加費無料

7) 令和7年度中間監査報告

12月16日に行われた中間監査について、監事より業務の執行および会計が適正に行われていたことが報告された。監事より指摘のあった確認事項については事務局より説明があり、詳細は後日共有することとなった。

8) その他

○日本理学療法士協会代議員選挙の日程および概要が報告された。千葉県の代議員定数は13名であり、理事各自に対し個人の意思による立候補検討の呼びかけが行われた。

○第31回千葉県理学療法士学術大会の準備状況について報告された。

次回：令和7年度第13回理事会 WEB開催

日時：令和8年2月13日（金）

会場：WEB

以上

●令和7年度 第13回理事会 議事録

日時：令和8年2月13日（金）19時00分～21時30分

場所：WEB会議

出席者：〈理事〉薄 直宏、松田 徹、小林好信
小川明宏、高橋 聡、大住崇之
桑江 豊、江戸優裕、金子達哉
山中 玄、高杉 潤、竹内真太
室井大佑、藤井 顕、小串健志
福家晶子、中村亮太、仲 貴子
井上靖悟、深田 亮、川村雄輔

〈委任状〉森下勝行

〈監事〉田中康之、児玉美香、松川基宏

〈事務局〉奥村龍之

〈書記〉江戸優裕

1. 審議事項

1) 令和8年度理学療法士講習会として選考できなかった講習会について

令和8年度理学療法士講習会の選考に於いて県士会推薦に至らなかった3件の講習会について、会員に有益な内容であることから県士会主催講習会として開催することが審議され、賛成多数で承認された。

2) 令和8年度 理学療法月間関連イベント連動企画について

2026年度より従来の「理学療法週間」が「理学療法月間」へと移行することに伴い、県士会としても計画的かつ連動的な活動を行うことが審議された。同時期の各部局・ブロック開催イベントでの協会配布のハンドブックの県民への配布、ポスター掲示やSNS等での発信などの連携案が提示され、賛成多数で承認された。

3) 令和8年度新入会・復会促進のための新たな研修会企画について

令和8年度の新入会・復会促進を目的として、会員・非会員を対象とした研修会を開催することについて審議された。地域活動支援本部と生涯学習局企画研修部が連携し、事務局が全体を統括することでブロックを巻き込んだ全県的な展開を行うものであり、開催日は2026年9月12日（土）、場所：千葉県立保健医療大学幕張キャンパス、参加費：会員・非会員とも無料で調整する。本件開催について賛成多数で承認された。

4) 産業衛生委員会の名称変更について

産業衛生委員会の名称を実際の活動範囲を包括する「保健・衛生委員会」へ変更することが審議された。「保健・衛生委員会」の下部に既存の産業衛生領域を含め、地域・学校・母子保健等の関連領域を「班」として再編・整理する案が提示され、賛成多数で承認された。

5) ブロック主催企画研修部共催更新研修会参加者の要件について

ブロック主催企画研修部共催更新研修会の参加者要件の変更について審議された。現状では参加者要件を同一ブロック内の会員に限定しているが、一定の条件を設けて緩和する案が提示され、賛成多数で承認された。

6) 新規入会者の承認について

2026年1月の新規入会者について、賛成多数で承認された。

2. 協議事項

1) ブロック主催研修会等の参加者要件について

企画研修部共催更新研修会以外のブロック主催イベント（更新ポイントが付与されない研修会や交流会）の参加要件について協議された。現状では参加者要件を同一ブロック内の会員に限定しているが、県士会員に拡大した場合の影響について、ブロック化の趣旨や今後の中・長期計画を踏まえて今後も協議を重ねることとなった。

2) 定款変更および関連規程について

定款変更に向けて変更案および関連規程について協議された。次回の代議員総会までに変更案を完成させる方針で今後も微調整することとなった。

3. 報告事項

1) 会長行動録、三役会報告、三役局長会議報告

令和8年1月9日～本日までの会長行動録および三役会と三役局長会議の結果が報告された。

2) 事務局報告

下記8点について報告された。

①県士会ニュースの進捗

②会員向け郵送物の発送

③令和8年度新入会歓迎セミナーの準備状況（2026年5月17日開催）

④厚労大臣表彰祝賀会の開催（2026年1月31日開催）

⑤日本理学療法士協会LINEオープンチャット

⑥千葉県理学療法士会広報戦略

広報戦略については、これまでSNS（X等）の活用が十分ではなかった現状を踏まえ、現在、広報班において運用の見直しを進めている広報フローおよび運用体制の整理を進めており、今後の具体的な内容については次回以降の会議にて協議予定である。

⑦理学療法士の質上げに関する対応（詳細は県士会HP参照）

⑧令和8年度財務処理関連体制

令和8年度より財務管理体制の変更を行い、全部局および各ブロックにおける経費は事務局による一元管理へ移行する。また、新たに設置する「証憑チェック班」において、議事録の添付を含む経費関連書類の確認を行った後に振込処理を行う新たな運用フローを導入する予定である。なお、本フローは令和8年度の4月～6月期分からの運用開始を予定している。

3) 公益事業局報告

下記6点について報告された。

①部員の変動（介護予防推進部・健康増進支援部）

②令和7年度健康・体力づくり指導者研修会の進捗

③スポーツ障スポ合同セミナー

④介護予防推進部研修会

⑤障がい者スポーツ障がい者区分判定

⑥障がい児・者支援部セミナー

4) 認定スクールトレーナー講習会の推薦者について

令和8年度認定スクールトレーナー講習会への県士会推薦枠について、これまでの活動実績や専門性、今後の関与の見通し等を総合的に勘案し、2名を推薦したことが報告された。

5) 第31回千葉県理学療法学会 進捗状況

事前参加登録は現時点1,192名、学会大会全体準備も順調であることが報告された。

次回の第32回学会大会は2027年2月28日に予定している。

次回：令和7年度第14回 対面開催

日時：令和8年3月13日（金）19時開始

会場：千葉市文化センター会議室

以上



◆ 編集後記 ◆

● かかわる・つながる

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

日に日に暖かさが増してきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今号の巻頭言で松田副会長が触れておりましたが、会員・非会員を問わず参加できる1日型の対面研修会を無料で開催する予定というお話がありました。

私もニュース編集部に関わるまでは、入会しているものの県士会の活動に参加することは、学会に参加する以外はありませんでした。しかし、先輩からニュース編集部に誘われ、最初は面倒な事を頼まれたな……と思う事もありましたが、継続している内に県士会活動を通じて知り合いも増え、学会に参加した際に声をかけていただいたり、お話をする方も増えました。あのまま職場だけの理学療法士の繋がりでは絶対にお会

いできないような尊敬する理学療法士の大先輩方とも一緒にお酒を飲みながらお話を聞ける機会も無かったと思うと、本当に「県士会活動に参加して良かったな」と今は思います。県士会を「遠い存在」ではなく、「自分ごと」として感じていただくためにも、ぜひ会員・非会員を問わず参加できる1日型の対面研修会に皆さまの所属先で入会されていない方々をお誘いいただき、繋がりを増やしていただきたいと思ひます。

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。



今回のニュース原稿の締め切りは
令和8年4月30日です！

千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 琢磨
t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 薄 直 宏

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 琢磨

医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684
Mail t.kouketsu@asunargroup.jp